

平成30年 7月 27日

(公社)埼玉県介護老人保健施設協会  
会長 小川郁男 様施設名 ファインハイム  
氏名 木森 寛

## 研 修 会 報 告 書

研修会名	平成30年度第2回リハビリ関係職員研修会				
日 時	平成30年7月22日(日) 10時～15時30分				
会 場	秋草学園福祉教育専門学校				
講 師	中村 純子 氏(理学療法士)				
参加人数	25名(講師・研修委員含む)				
研修委員 (氏名・施設名)	・松本 宏明(プライムケア川越)・永原 俊昭(トワーム熊谷) ・高橋 昌(シルバーケア敬愛)・小野田恵(栗橋ナーシングホーム翔裕園) ・神山 知子(遊)・関口 諒(やまざくら) ・木森 寛(ファインハイム)				
研修会のテーマ	『重度者・終末期ケア研修会』～ワールドカフェを通して～ 講義①ワールドカフェ				
研修会の評価	アンケート回収枚数	17 枚	3. グループワーク	4.4 / 5	
	1. 研修内容と目的の一致	4.2 / 5	4. 研修会の進め方	4.5 / 5	
	2. 講義に対する評価	①	4 / 5	～総合評価点～	17 / 20
		②	/ 5		
③		/ 5			
④		/ 5			
総 評	(研修会開催後の反省会での内容や研修委員としての感想等を記述)				
	<p>今回の研修会は、埼老健研修会年間テーマの「老健だからできる重度者の受け入れ」を見据えたワールドカフェを実施しました。初めは参加者も初めて取り組む不安からか硬い表情の方が多かったですが、講師の中村先生によるワールドカフェの説明・導入から始まり、各話し合いの回ごとに全体の雰囲気に合わせて話の方向性や深め方を示して頂いたため、活発な意見交換が行われたと感じました。その表れとして、最後に行った参加者一人一人の発言の中で「自分自身の振り返り、理解になる会だった」「他職種をもっと理解しようと思う」「自分の老健でもっと色々できるのではないかと感じた」などの意見が聞かれました。自分に何が出来るか、参加者一人一人が意識して明日からの業務に取り組む上でのいい機会にできたと考えます。</p> <p>今後の研修会への要望として、リハ職としての技術や知識を学びたいという意見がありました。またその一方で「色々な職種の方と話せてとても刺激になった。今後もリハ職以外の方も参加できる研修会を。」という声や「今回の様に皆と話し合う機会をつくっていきたい」という意見も聞かれました。リハビリ関係職員研修会は研修会名の通り、どちらの声にも応えることが出来る研修会だと考えるためリハ職だけに限らず、多職種と共に切磋琢磨していくことを支援する研修会を続けていければと考えます。</p> <p>反省会にて当日の緊急連絡先について話が上がりました。当日、不参加の連絡が受付担当の施設に3件入り、ご迷惑をかけてしまった。改善案として、参加者からの当日連絡用に研修会用にプリペイド式携帯などがあるのではないかと。研修会用のメールアドレスがあれば参加者や研修会側からも当日の緊急連絡(悪天候のため中止など)ができるのではないかと。などの意見が上がりました。</p>				

\* アンケート結果の詳細については、別紙添付資料「研修会アンケートのまとめ」を参照。